

シルバー とつきょう

CONTENTS

02-03 「安全就業特集」

令和4年度 シルバー人材センター安全大会

04-05 安全就業優良シルバー人材センターの取組み

●昭島市シルバー人材センター ●日の出町シルバー人材センター

令和4年度 安全就業標語受賞作品

令和5年度 安全就業標語募集中！

06-07 安全就業パトロール報告 ～令和4年度前半を終えて～

08-09 令和4年度 総務省 デジタル活用支援推進事業

●中野区シルバー人材センター

●調布市シルバー人材センター ●羽村市シルバー人材センター

10 スマートフォン 体験会&相談会

シルバー人材センター等労働者派遣事業

11 福祉・家事援助サービス事業

シニアしごとEXPO 2022 (東京都主催)

12-13 労務実務相談のご案内

14 「シルバー人材センターに入会しませんか」

・これからシルバー応援フェスタ ・高齢者活躍人材確保育成事業

15 会員向け技能講習

シルバー人材センター役職員研修

シルバー保険事業室だより

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

令和4年度 シルバー人材センター

令和4年9月30日(金)、秋の気配を感じる穏やかな陽気の下、都内シルバー人材センターの役員、会員の皆様、21名にご参加いただき、「令和4年度シルバー人材センター安全大会」を開催しました。

例年、シルバー人材センター安全大会は、安全就業の推進を目的として、都内シルバー人材センターから200名を超える方々のご参加により開催していましたが、昨年度と一昨年度はコロナ禍のため集合開催ができませんでした。今年度は、規模を縮小しながらも3年ぶりに集合形式で開催することができました。



理事長の開会挨拶



表彰式の様子

大会では当財団理事長の挨拶後、令和4年度安全就業標語の表彰並びに安全就業優良センターの表彰と安全取組みの事例発表を行いました。

安全就業標語は、応募総数3,591点から、最優秀賞2点と優秀賞8点が表彰されました。表彰では当財団理事長より賞状と副賞の授与を行い、集合記念写真の撮影を行いました。また、当日会場には最優秀標語をもとに作成した安全啓発ポスターを貼り出し、ご自身の標語が書かれたポスターの前で記念撮影をされるご様子が、微笑ましく、また大変晴れやかでした。



記念写真(安全就業標語受賞者)

作品は
4ページを
ご覧ください!

安全大会

続いて、今年度の安全就業優良センターの昭島市シルバー人材センター・日の出町シルバー人材センターの事例発表を行いました。両センターの取組みは次のページをご覧ください。



昭島市の事例発表



記念写真(昭島市シルバー人材センター)



日の出町の事例発表



記念写真(日の出町シルバー人材センター)

「安全宣言」の全員唱和はコロナ禍のため行いませんでしたが、財団事務局次長が代表して読み上げました。3年ぶりに皆様と「安全宣言」を共有するとともに、改めて日々の就業の中で「安全はすべてに優先する」の基本理念に立ち返りました。

令和4年9月14日東京都総務局から発表された「敬老の日にちなんだ東京都の高齢者人口(65歳以上)」は312万人と、過去最高を記録しています。多くの高齢者が活躍できる場として、シルバー人材センターへの期待は高まるばかりです。また、活躍の中身についても、多様化する高齢者の就業ニーズに対応できる「質」が問われる時代となってきました。そのような変化を遂げる中、安全就業の理念は常に根底にあり、安全無き高齢者の活躍はありえません。これからも東京都シルバー人材センター連合は、地域のシルバー人材センターの安全就業を支援し続けてまいります。



事務局次長の「安全宣言」



安全宣言

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 1 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 1 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

平成27年7月1日
東京都シルバー人材センター連合



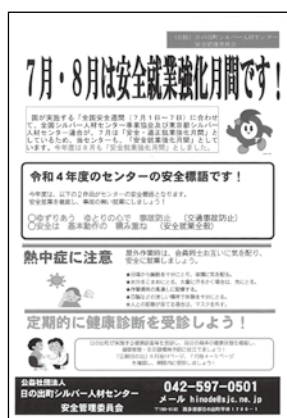
公益社団法人 日の出町シルバー人材センター

1 安全管理委員会の体制

安全管理委員会を年12回開催しています(令和3年度はコロナ禍の為、年8回の開催)。事故発生時には事故原因の調査や再発防止策を協議し、会員にフィードバックをしています。

2 7月・8月を「安全就業強化月間」に設定

令和3年度より、8月も安全就業強化月間に設定し、会員の安全意識の更なる向上を目指しています。安全就業強化月間の周知チラシを作成し、配分金明細書への同封・就業報告書の裏面にチラシを印刷するなど、会員への周知徹底を図っています。チラシには、センターの標語や熱中症の注意喚起、健康診断受診奨励の記事を掲載しています。



3 熱中症対策

7月から9月にかけて熱中症対策として、除草・植木会員に塩分を含んだ飴を配布しています。また、最高気温が35度前後の予報が出た場合は、除草・植木会員は午前中での就業とし、熱中症警戒アラートが発令される予報が出た場合は、除草・植木会員は就業を中止します。

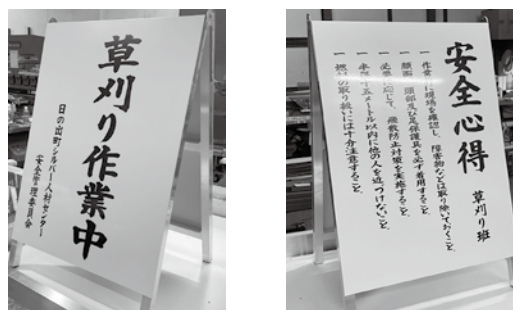
4 ストレッチ体操

総会資料送付時に、東京連合の「転倒しにくい体づくり」のチラシを同封し、就業前のストレッチ体操の実施を奨励しています。また朝、就業前に事務所に集まった除草・植木会

員に対し、安全就業推進員が会員の輪の中に入り一緒にストレッチ体操をすることで、会員のケガ防止の一助となるよう考えています。

5 「草刈作業中」看板の作成

刈払機による物損事故が後を絶たない為、草刈班の安全意識醸成を目的に、「草刈作業中」看板を作成しました。表面には「草刈作業中」、裏面には「草刈作業の安全心得」の看板を設置し、いつでも安全心得を確認することができ、安全意識向上につながっています。



6 安全ワッペン作成

就業会員に安全ワッペンを配布し、安全就業強化月間のもとより通年にわたり着用を要請し、日々の安全意識の向上に努めています。



令和5年度 安全就業標語募集中!

東京都連合では、安全就業に対する会員の意識向上に活用するため、都内シルバー人材センターを通じて、以下のテーマで標語を募集しています。

テーマ1 「健康管理」

テーマ2 「センターごとに設定したテーマ」

応募方法：都内各シルバー人材センターにご応募ください。
締切：各センターの応募締め切りをご覧ください。
最優秀作品は、令和5年度の安全啓発ポスター等に掲載します。



安全就業パトロール報告

～令和4年度前半を終えて～

安全就業パトロール指導員 永谷 秀司
坂東 寛

令和4年度は12月末現在で54センターを訪問し、就業現場巡回と安全就業にかかる調査・相談を実施しました。尚、本年度より指導員2名体制で東京都連合58センターを巡回しています。

関係者の皆様には、お忙しい中ご協力頂きありがとうございました。巡回調査したセンターの安全就業対策の取組み状況を報告いたします。

安全就業対策の重点項目の実施状況

(1)「安全就業基準(作業別含む)」の周知と遵守の徹底

安全就業基準については、ほとんどのセンターで入会説明会あるいは入会研修時に、配布・説明・遵守要請まで実施されていました。但し、一部のセンターでは感染症対策により、説明会や集合研修に代えて書面による説明・遵守要請としていました。

安全就業基準(作業別含む)は会員自身が内容を理解し、納得しなければ遵守の徹底は困難と考えます。そのために様々な機会を捉えて、今まで以上に周知・説明・遵守要請する必要があります。基準類への理解を深めるために、事故の再発防止検討を行う際には、必ず「安全就業基準(作業別含む)」の該当する事項があれば再確認し、遵守の徹底を申し合わせるようお願いしています。

安全就業基準をより身近に捉えていただく事例として、



ミニハンドブック
(足立区シルバー人材センター)

足立区シルバー人材センターでは、安全心得10ヶ条や就業前チェックリストなどを掲載した「ミニハンドブック」を作成しました。手帳サイズで会員が常に携帯できるようにしています。

(2)経路途中の安全確保

経路途中の傷害事故では、自転車事故が多いことを各センターとも認識しており、自転車利用の少ない一部の山間部、島嶼部を除けば、啓発活動は活発に行われています。

令和3年度の実績として、自転車の安全走行の啓発及び安全運転チェックが37センターで実施されていました。事例として「広報誌に自転車安全利用チェックリストを掲載し、会員に自己チェックを求めている」「自転車ルール筆記テストの実施」「自転車安全運転標語、安全宣言パネルを作成し、自転車の前籠に取り付けている」などがありました。

しかしながら、自転車安全講習の開催は14センター、センター主体の自転車安全点検の実施は13センターで、例年の約半数となっていました。コロナ禍で開催できない状況が続いているようです。



「自転車安全教室」の様子
屋外での実施です
(小金井市シルバー人材センター)



自転車安全運転宣言パネル
(荒川区シルバー人材センター)

(3)安全管理委員会の活動の活性化 (傷害・賠償責任事故防止)

安全対策は事務局任せでは限界があり、安全管理委員会による主体的な活動を活性化することが効果的なことから、平成27年度以降は普遍的に重点事項に取り上げられています。

意識的に取り組んでいただきたい事項として「事故分析と再発防止策の検討と会員への情報共有」「安全管理委員会の役割として行う就業現場パトロール(計画、実施、報告)の実施」を強く求めており、全てのセンターで計画、実施されています。

活性化の事例として、目黒区シルバー人材センターでは、就業グループ及び地域班から安全支援員を選任し、「安全支援員活動計画」の作成・実行、危険予知の推進、危機管理マニュアル(火災・地震対応等)の活用促進、および内規の見直し(安全・健康関連項目)を行い、安全活動の活性化と事故防止を図っていました。



緊急時対応模擬訓練・消火器取り扱いの様子(目黒区シルバー人材センター)

その他、「安全支援員による就業現場の安全一斉点検を実施、結果を安全管理委員会で報告」「職群リーダーによる安全支援員

研修を開催し、事故情報の共有を図っている」といった取組み事例がありました。安全支援員あるいは安全リーダーとの連携・協力強化が活性化のキーポイントになると思われます。

(4) 危険予知活動の実施

安全就業パトロールでは危険予知活動の推進を最重要課題と位置付けて実施しています。令和3年度より各センターの活動状況、会員の理解度に応じて取組み計画を立てるよう指導してきました。まずは、KYシート、事故事例及びヒヤリハット事例に基づく危険予知訓練からスタートし、会員の理解を得ます。次に、就業前のKYミーティングや指差し呼称による現場での実践に繋げると同時に、安全管理委員会には、会員に危険予知の習慣を身に付けて頂けるよう推進をお願いしています。

令和3年度実績として20センターで「危険予知訓練・講習」を実施していました。方法としては「広報誌にKYイラストを掲載あるいはKYシートを配布して、会員に実施を要請」

「地区・職群班会議あるいは各種研修時のカリキュラムに危険予知訓練を加えている」などがありました。受注時・作業開始時のKY活動は28センターで実施されていました。実施内容としては「受注時に危険箇所がないか事前に確認し、グループ内で共有する」「就業前のミーティングでの注意喚起」といった回答が多くを占めました。

中野区シルバー人材センターでは一人KYカードを作成し、一人就業現場でもKYが行えるよう工夫していました。就業現場の実践例として



安全就業パトロール指導員と一緒に指差し呼称「マンホールの段差に踏いて転倒注意!」(渋谷区シルバー人材センター就業現場にて)

危険予知活動は会員自ら考えて行動を起こすことを目指しますが、安全管理委員会あるいは事務局が、そのための推進役となることが不可欠と考えています。

安全の見える化

「安全は全てに優先する」を意識し、行動する取組みの一つとして「安全の見える化」があります。視覚に訴えることにより「気づき」が生まれ、安全行動に繋がると言われています。安全方針の表明・情報共有、安全就業基準(安全ルール)あるいは危険・有害物の見える化がこれに当たります。

巡回指導時に確認した就業現場での「安全の見える化」事例を紹介します。

荒川区シルバー人材センターでは、センター事務所に「怪我事故ゼロで行きましょう」の懸垂幕と無事故継続日数を掲出し、会員の安全意識高揚と事故情報の共有を図っていました。また、立川市シルバー人材センターでは、「小学校低学年児童下校時通学路安全見守り活動」参加会員が活動時に着用するベストを展示して、地域貢献活動時の服装ルールを明確にしていました。



懸垂幕と無事故継続日数の掲出(荒川区シルバー人材センター)



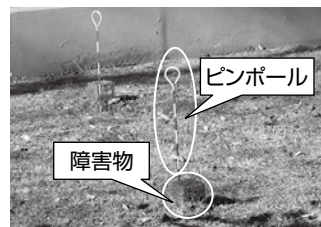
見守り活動用のベストの展示(立川市シルバー人材センター)

「危険の見える化」事例として、千代田区シルバー人材センターでは、センターが行う安全パトロールで指導した「階段の

踏み外しによる転落の危険」対策として、「足元注意」の表示を行っていました。



「足元注意」の危険表示(千代田区シルバー人材センター)



「危険の見える化」(多摩市シルバー人材センター)

多摩市シルバー人材センターでは、草刈り機による作業時に、草で隠れたコンクリートの指標、配管、根上がりや切り株を避ける対策として、ピンポールを立てて障害物を表示している作業グループがありました。

いずれの事例も、ちょっとした工夫で事故の未然防止が図れると思います。

最後になりますが、コロナ禍で安全管理委員会としての活動が制限される状況が続いています。安全就業パトロール時の指導事項は感染症対策を優先して、決して無理のない範囲でのお願いとなります。大切なことは、安全対策実施計画の進捗管理と活動の結果・評価を確実にに行い、次年度の計画に反映することだと考えています。

「事故ゼロ」を目指し、組織一丸となって安全対策を実行していただくよう期待しています。

令和4年度 総務省 デジタル活用支援推進事業

現在、
シルバー人材センター(SC)会員
が「デジタル活用支援員」(講師)
となりスマホ講習会を
実施中!

本事業(令和3~7年度実施)は、年齢等によるデジタルデバインド(情報格差)の解消を図り、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる社会の実現を目的としています。

事業の担い手の一員として、昨年度に続き調布市SCと羽村市SC、さらに新規で中野区SCが採択されましたのでご紹介します。



デジタル活用支援

中野区シルバー人材センター

講師19名(うち女性9名)が本事業に参加し、豊富な人材でチームを結成されているのが中野区SCの強みです!どのようにチームをつくり講師を養成されたのか、本事業にける思いやビジョン、講習会の様子を会員の方にインタビューしました。

1 講師募集

Q

女性講師が活躍されていますが、講師募集はどのように行ったのですか?

A

中野区SCパソコン教室に長く通う熱心な受講生をスカウトしました!スキルレベルも人物もよく分かるので、SCに入会してもらい講師になってもらったのです。パソコンを教えながら、講師の発掘も行っています(笑)

2 講師養成

Q

総務省から提供された研修(オンライン集合研修・eラーニング)はいかがでしたか?

A

研修時は、講師陣が講習会のお手本を見せてくれるので、上手だなとたいへん勉強になりました。 아이폰、アンドロイドの機種の違いも学ぶことができ、やってみると自分のためになりました。学生に戻ったような新鮮さがあり面白かったので、この事業に参加してよかったと思います。

Q

講師の養成は通常どのように行っているのですか?

A

私たち講師の先生は「生徒さん」です。日々生徒さんの質問により、私たちの知識の幅が広がっていきます。生徒さんが操作ミスされると、その解決方法を学ぶことができ成長の肥やしになるのです。その得られた知識の情報交換を、チームを越えて行っているのも、私たちSCの特長です。

3 講習会実施

Q

どのような講習会を実施しているのですか。

A

私たちは**教官ではなく、共感する講師**です。耳が遠い、つまづきやすい、そんな高齢者の気持ちが分かるのです。今まで中野区SCパソコン・スマホ教室を長年やってきて、生徒は「もっと知りたい、学びたい」とリピーターとなり通い続けてくれています。最高年齢の方はなんと93歳! **受講者は講習会に来ることが楽しみ!**となる講習会の実施を心がけています。

Q

女性講師が好評なわけは?

A

中野区SCは女性講師が多いのですが、**女性講師はとことん教える、親切さが違う**ように思います。同じことを聞かれても丁寧にする!受講生は女性が多いので、女性講師だと当たりが柔らかく、質問しやすいので**安心感がある**と好評です。子どもや孫に質問しても、教えてもらえない、スマホ操作を代行して「ハイできた!」と渡されてしまうが、ここに来るとマンツーマンでしっかり教えてもらえると喜んでいただいています。

田中会長へ本事業にける想いをお聞きました!

シルバー人材センターは高齢者を助ける団体でありたい、高齢者がデジタル社会で取り残されないように一翼を担いたい。全国どのシルバー人材センターに行ってもスマホを教えてくれるということができれば、シルバー人材センターのブランド力となり、全国的にシルバー人材センターの知名度を上げることができる。この事業は、地域に貢献できる大きなチャンスだと考え、参加いたしました。

19名講師が勢ぞろい
区内3地域でスマホ講習会を同時開催



北部



南部



江古田

中野区・調布市・羽村市シルバー人材センターが採択されました！

2年連続採択されたセンターをご紹介します

調布市シルバー人材センター



●講師の声

昨年より、講師メンバーを増員し、高齢の受講者の方にわかりやすい講座をこころがけ、講習会を行っています。受講者が何を求めているのかパソコン班一同で共有し、独自事業のスマホ講習会にも役立てていきたいと思います。

●実生活に必要な講座編成

昨年に引き続き、スマホ初心者の方が、実生活の中でスマホを有効活用できるよう基本講座カリキュラムを編成しました。電源の入れ方から始まり、電話やメールの利用方法、また日常生活で使用頻度の高いカメラやインターネットの使い方、さらにマイナンバーカードの申請方法を受講者の方に学んでいただいています。基本講座とは別に、Android/iPhone問わずアプリの追加の仕方・マイナポータルの活用方法(マイナポイント申請)等について特化した応用講座を実施しています。高齢者にとって難易度の高いマイナポイント申請等を集中的に学んでいただく講座を設けることにより、受講者の方から好評を得ています。



羽村市シルバー人材センター



●羽村市シルバー人材センターの取組

今年度も市と連携し、本事業を活用した「初心者向けスマートフォン講習会」を実施中です。マイナンバーカード申請に関するテキストは、市担当係と協議を重ねて作成しました。また、市広報への受講者募集記事掲載、公共施設へ受講者募集チラシを備え置いていただき、定員を超えた応募に繋がりました。



●「iPhone」講習会を新設

昨年度は「Android」講習会を実施しましたが、「iPhone」も実施してほしいとの声を踏まえ、今年度は、Android/iPhone各々の講習会を実施しました。講習会では、講師が受講者一人ひとりに丁寧に話しかける姿勢が、大変好評でした。講習会の幅を広げるためには、スマホに関する様々な知識を習得する必要があり、講師の負担は増えてきましたが、充実した講習会を開催し、受講者により満足していただけたことが、講師のやりがいとなっています。

●本事業を契機に「ステップアップスマートフォン教室(独自事業)」開講！

現時点で、受講対象を会員に限定して試行的に実施していますが、今後、講師を増員し、受講対象を広げていく予定です。

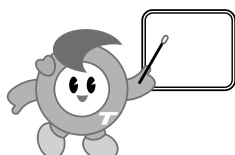


申請前 SC職員向け事前説明会を実施

申請の要点をつかみ、スムーズな申請書類の作成ができるよう説明会及びSC同士の情報交換の機会を設けました。

講師勉強会

昨年度採択された港区SCの会員講師のレクチャーの下、スマホ講習会の知識やノウハウを3センターで共有し、意見交換しました。



①事前準備編Ⅰ(5/26)

- ・講座内容構築、テキストのアレンジ
- ・講師育成
- ・講座準備と運営のポイント

②事前準備編Ⅱ(6/10)

- ・模擬講座(「マップの使い方」の実演)
- ・講座運営の工夫、注意点

👉 段階的に準備！

講師間でロールプレイング(講師役・受講者役)練習⇒会員向けにリハーサル⇒本番⇒全体での定期的な反省会

👉 ここがポイント！

本番がスムーズに進むよう、スマホの操作練習、端末の設定、プレゼン環境などの講座運営環境の整備が大切。

👉 ここを意識しました！

- ◎受講はスマホ活用のきっかけ
「分かった」より「楽しかった」をめざす
- ◎シニアがスマホ操作でつまずきやすい点を押さえる
- ◎脱落者を出さないために、講師のやってしまいがちなNGを知る

スマートフォン 体験会 & 相談会

協力SC：文京区、世田谷区、杉並区、豊島区、足立区、多摩市（令和4年度前期）

6シルバー人材センター（SC）に会場提供、広報等のご協力をいただき、スマートフォン体験会&相談会（都デジタルサービス局主催）が開催されました。SCの呼びかけで、会員はもちろんのこと、地域の方も参加され、SCを知ってもらう機会にもなりました。



世田谷区SC広報ちらし

スマホがはじめてでも安心 体験会

体験会は、スマホをお持ちでない方を対象に、スマホ試用（試用期間約1か月）できるのも魅力の一つです。「体験会に参加してみてスマホを購入した」「購入後は、会員同士で自然とスマホを教え合い、スマホ活用が浸透している」と好評です。



足立区SC体験会

高齢者の個々の「知りたい!」に応える 相談会

相談内容は「基本操作」のほか、「病院予約」「スマホ決済・カード連携」「Zoom操作」などニーズが多様化・高度化している印象です。来場者からは「納得できた! 来てよかった!」と、満足のお声をいただきました。



豊島区SC相談会

シルバー人材センター等労働者派遣事業



令和4年度上半期は事業所開設53地区のうち47地区事業所において派遣事業を実施しており、事業実績は下記のとおりです。

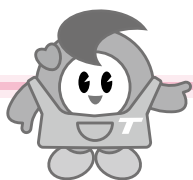
今年度は新型コロナによる影響も落ち着き、平常時の伸び率となっています。全ての項目で実績増となっていますが、実績を派遣事業所別で見ると、47地区中、契約金額は32地区で増加、就業延人数は33地区で増加しています。

	会員数 (人)	受託件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延人員 (人日)
令和4年度	9,121	4,058	892,556	146,507
令和3年度	8,204	3,565	777,859	131,978
増減比	+11.2%	+13.8%	+14.7%	+11.0%

（令和4年9月末現在）

労災事故については、上半期は21件であり、昨年同時期17件に比べ4件増加しています。通勤途上は4件で、うち2件は自転車での転倒事故でした。事故の内訳は転倒が11件と最も多く、うち4件は階段での上り下りの際の転倒でした。段差や障害物につまづく事例が多く、足元には十分注意することが必要です。

また、高齢者の自動車事故が多発していることもあり、初めて自動車運転業務に従事する方は就業前に、すでに就業中の方は年1回、自動車運転講習を受講することを条件としています。連合でも運転講習を開催しておりますので、対象者の方は受講をお願いします。



福祉・家事援助サービス事業

令和4年度
第1回

「福祉・家事援助サービス事業担当者交流会」を開催

令和4年9月16日、第1回「福祉・家事援助サービス事業担当者交流会」を開催しました。「福祉・家事援助担当事業」として初めて、会場参加者とオンライン参加者を結び、双方向のやりとりが可能な完全ハイブリット型での実施でした。

講師にはNPO法人コミュニティビジネスサポートセンターの代表理事、永沢映氏をお迎えしました。地域コミュニティ事業推進の第一人者で、高齢者がいつまでもいきいきと暮らせるまちづくりに長くかかわってこれ、4年前からは埼玉県シルバー人材センター連合を運営する、(公財)いきいき埼玉の会長に就任されています。様々な視点で、東京都のシルバー人材センターの福祉・家事援助サービス事業についてお話をいただきました。

リアル会場の東京しごとセンター会議室には講師と4センター4名の担当職員の方が参加し、オンライン参加の11センター13名の担当職員の方とを結んでの双方向交流での開催となりました。

午前中は永沢講師の講義で、午後はリアル会場1グループ、オンラインを3グループに分けてグループミーティングを実施しました。テーマを2つ設け、午前中の講義を踏まえたフリートークを経て、テーマ①「家事援助就業会員の増加」、テーマ②「就業会員の質の向上(平均化)」で話し合いました。

テーマ①の発表の中で、説明会の実施とその利用方法をあげたセンターが、様々な工夫をされており、他のセンターから参考にしたいとの声も多く聞かれました。

テーマ②については積極的に研修を取り入れてレベルアップを図っているセンターがある一方で、特にここ数年はコロナ下の影響で研修が少なくなっている現状も見られました。

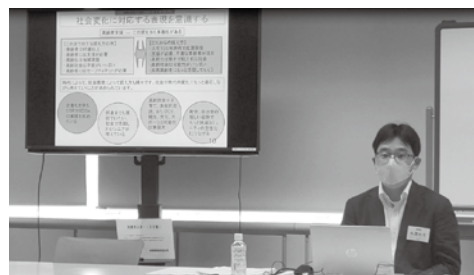
最後に永沢講師から講評を頂き、全プログラムを終了しました。

当初の参加希望よりはグループ数は少なくなりましたが、参加された皆様からは事業運営に対する熱意が感じられた交流会となりました。

アンケート結果では、講義に関して「非常に有意義だった」「社会参加の重要性をあらためて実感した」との声が多く聞かれました。グループ討議では「センターによって、実情も異なり、参考になることも多かった」との声が聞かれる一方で、地域差があることから、現状が似ているセンターでのグルーピングの要望が上がるなど講義よりも職員間の交流時間を求める声も聞かれました。また、オンライン開催は参加しやすいとの意見も聞かれました。いただいたご意見や感想を、次回開催に活かしていきたいと思います。



リアル会場の様子(東京しごとセンター会議室)



永沢講師の講義の様子



グループ討議の様子

シニアしごとEXPO 2022(東京都主催)

東京都主催の「シニアしごとEXPO」が、今年度も無事開催されました。

新宿会場は、10月4日に新宿NSビルイベントホールで行われ、東京都連合の他に新宿区SC、江東区SC、豊島区SC、板橋区SCが出展しました。

立川会場は、10月25日にパレスホテル立川で行われ、東京都連合と立川市SC、武蔵野市SC、国立市SC、武蔵村山市SCが出展しました。

シルバー人材センターの会員の方は、「思ったほどは売れなかったけれど楽しかったです。」と話してくださいました。

「シニアしごとEXPO」は来年度も予定されています。より多くのセンターの出展をお待ちしています。



新宿会場



立川会場

労務実務相談のご案内

東京都シルバー人材センター連合が、シルバー人材センター向けに実施している専門相談には、法律相談・会計相談に加え労務実務相談があります。今年度から、社会保険労務士の資格を有する先生方が複数在籍するBe Ambitious社会保険労務士法人にチームで支援をしていただいています。



【社会保険労務士のお仕事とは】

社会保険労務士(社労士)は、社会保険労務士法に基づいた国家資格者です。人材に関する専門家であり、「労働及び社会保険に関する法令の円滑な実施に寄与するとともに、事業の健全な発達と労働者等の福祉の向上に資

すること」を目的とした業務を行います。その業務の範囲は、事業所における採用から退職までの「労働・社会保険に関する諸問題」や「年金の相談」に応じるなど、広範囲にわたっています。



【例えばこんな時にご活用ください】

センターの管理・運営を行う立場にある事務局長や役員の方々が、センターの活性化、業務効率化、センターの職員処遇等の検討を行う際などの相談先として活用していただくことができます。職員の人数・体制・環境等、センターごとに背景が異なり、目指す方向性も異なりますので、個別の状況と目的に合わせた相談を受けていただけるよう、予約制の個別相談日も新たに設けました。専門家の意見を聞きながらセンターの環境を整備していき

い場合などにご活用ください。

なお、従来からメール相談として受けていた日常的な労務管理の事務処理手続き等に関する質問も、広く受け付けています。休日出勤等とその振替の手続きやその他労務管理上の不明点などについて、センターの規程と合わせて確認・アドバイスを行うことができます。実務上の相談については、書面決裁等、センターでの決められた手続きをお取りいただいた上で、メールにより受けることができます。



【労務実務相談の実施日程など】

○相談方法：2種類

①メール相談

随時受付しています。

所定の申込書及び添付資料等をメールで運営担当に送ってください。

回答が参りましたら、運営担当からセンターにメールでお送りいたします。

②面談相談

月1回の所定相談日に予約の上で来場し、直接相談を行うことができます。

電話で相談の時間枠を予約し、事前に資料を送付してください。

前もって運営担当から社労士に資料を送付した上で、当日の相談につなげます。

実際に相談を担当している先生方をご紹介します。

Be Ambitious社会保険労務士法人
代表 飯野 正明 先生



- 仕事のモットーをお聞かせください
人役喜報 「人の役に立って喜んでもらって報酬を頂く」
- 趣味、お気に入り、マイブームなどを教えてください
覚えてたのゴルフと戦国時代もののみの読書
- シルバー人材センターの職員の方に一言お願いします
身近な相談相手として、心配りを忘れずに誠心誠意務めてまいります。

藤岡先生



- 仕事のモットーをお聞かせください
気軽に連絡してもらえそうな、身近な社労士でありたい。
- 趣味、お気に入り、マイブームなどを教えてください
頭を真っ白にし、ただ目の前の食材に取り組む、半分実験のような料理をしている時間が楽しいです。
- シルバー人材センターの職員の方に一言お願いします
複数の社労士がいる強みを活かし、全員で相談しながら、より分かりやすい回答をしたいと思っています。

松本先生



- 仕事のモットーをお聞かせください
誠心誠意を尽くす。
- 趣味、お気に入り、マイブームなどを教えてください
最近行けていませんが、旅行に行きたいです。
- シルバー人材センターの職員の方に一言お願いします
誠心誠意ご相談にお答えしようと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

倉先生



- 仕事のモットーをお聞かせください
一心精進
- 趣味、お気に入り、マイブームなどを教えてください
毎朝、コーヒーを淹れること
- シルバー人材センターの職員の方に一言お願いします
安心してご相談いただけるように、誠意をもって対応いたします。

小嶋先生



- 仕事のモットーをお聞かせください
自己研鑽
- 趣味、お気に入り、マイブームなどを教えてください
倉が淹れてくれるコーヒーを飲むこと
- シルバー人材センターの職員の方に一言お願いします
みなさまの身近な存在になれるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

適正就業について

今年度も全シ協が主催する適正就業担当者会議がオンラインで実施されました。
配信期間は、10月17日～28日までのため、すでに動画の配信は終了しています。
配布資料は、以下から現在も入手可能です。

全シ協HP(<https://zsjc.or.jp>)

SC事務局用ページ > 全シ協資料(会議、通達、統計等) > 会議資料 > 適正就業担当者会議 > 令和4年度適正就業担当者会議資料

「シルバー人材センターに入会しませんか」

楽しくて、為になるイベント・講習会 \ 絶賛開催中 //

シルバー人材センターの仕組みや魅力について、地域の高齢者等に知っていただくことを目的としたイベント・セミナーを都内各地で展開中です。その一部をご紹介します！

これからシルバー応援フェスタ

令和4年9月30日(金)

葛飾区～テクノプラザかつしかにて



▶「いくつになっても働けることの素晴らしさ」

ご講演：弁護士 菊地 幸夫 氏

▶シルバー人材センターのご案内

葛飾区シルバー人材センター職員・会員の皆様

令和4年10月27日(木)

港区～高輪区民センターにて



▶「長生きするのはどっち？」

ご講演：医師 秋津 壽男 氏

▶シルバー人材センターのご案内

港区シルバー人材センター職員・会員の皆様

【その他の開催内容】

▶令和4年10月28日(金)	調布クレストンホテル	俳優・タレント	毒蝋三太夫 氏
▶令和4年10月31日(月)	フクラシア八重洲	生物学者	池田 清彦 氏
▶令和4年11月15日(火)	保谷こもれびホール	俳優・タレント	毒蝋三太夫 氏
▶令和4年11月28日(月)	中野サンプラザ	大学教授	村尾 信尚 氏
▶令和4年12月 5日(月)	ネッツたまぐーセンター	俳優・タレント	毒蝋三太夫 氏

高齢者活躍人材確保育成事業

スマートフォン活用講習会

実施日時 令和4年11月17日(木) 13:00～16:00

場 所 世田谷区宮坂区民センター

内 容 世田谷区在住60歳以上シルバー人材センター未入会の方を対象に開催(25名参加)



「高齢者向け健康食のレシピ」調理セミナー

実施日時 令和4年9月29日(木) 13:00～16:00

場 所 国分寺ひかりプラザ

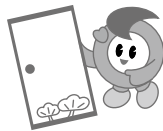
内 容 国分寺市在住60歳以上シルバー人材センター未入会の方を対象に開催(18名参加)



会員拡大に向けて「シルバー体験講習」とあわせて是非ご活用ください！

令和
4年度

会員向け技能講習



東京しごと財団では、シルバー人材センターで就業を希望する会員の方を対象とした講習を実施しています。

職域拡大技能講習（レベルアップ）

コース名	定員	日数	日程	講習会場
襦の張替え 「襦の張替え」の基本的な事柄を再認識し、技術向上を図ると同時に安全で効率よく襦を張替えることができるプロのコツを実技で学ぶ	15	3	令和5年3月7日（火）～9日（木）	ニチレイ水道橋ビル

就業支援講習（基礎的な知識・技能の習得）

※令和4年度の募集は全て終了しています。

福祉・家事援助サービス事業研修

コース名	定員	日数	日程	講習会場
福祉・家事援助サービス担当者交流会	-	1	令和5年2月17日（金）	三多摩労働会館（立川市）
生活支援サービス研修（第6回）	25	5	令和5年3月2日（木）～14日（火）	三多摩労働会館（立川市）

※所属のシルバー人材センター事務局経由でのお申込みとなります。

※1月以降に募集が行われる講習のみを掲載しています。

※新型コロナウイルス等の影響により、中止・延期・定員数変更となる場合があります。

☆令和5年度の募集は、2月以降にご案内の予定です。

★お問い合わせ

【職域拡大技能講習・就業支援講習】総合支援部 シルバー人材センター課 講習担当係 TEL:03-5211-2326
【福祉・家事援助サービス事業研修】総合支援部 シルバー人材センター課 事業係 TEL:03-5211-2314

令和
4年度

シルバー人材センター 役職員研修



理事・監事を対象とした「役員等研修」と事務局職員を対象とした「職員研修」を実施しています。シルバー人材センター事業の運営に必要な知識・情報を提供できるよう、時機に応じた研修を実施しています。また、受講者アンケートをもとに、毎年度内容の見直しを行い、魅力のある研修となるよう取り組んでいます。

役職員研修実施予定（1月～3月分）

対象	研修名	開催日	内容
職員	決算実務	1月16日（月）	決算時における書類作成のポイント
	課題改善研修（後期集合）	1月23日（月）	取り組みの報告
	総会運営	1月27日（金）	事前準備のポイント

※開催日は都合により変更になる場合があります。

研修紹介: 実務研修「広報」

毎年テーマを変えて実施している当研修、今年はアンケートで希望の声が多かった「広報」としました。「毎年の広報活動、改善したいけど方法が思い浮かばない」、「自分にはセンスがないから、デザインの良し悪しなんて分からない」等、頭を悩ませている職員の方も多いのではないのでしょうか。

そのため、今回の実務研修では、効果的な広報活動を考える際に必要な「広報戦略」・広報デザインを客観的に判断する際に必要な「広報の基礎デザイン」にポイントを絞り、センター広報活動の改善点や新しいアイデアを見つけるきっかけとなるような内容で実施しました。

当日はZoomミーティングを活用したオンライン研修ということもあり、主事職員～事務局長と幅広い職層の方にご参加いただきました。

シルバー保険事業室だより

自転車悪質交通違反、警視庁 取り締まり強化へ



警視庁によれば、都内では令和4年の9月末までに全体の交通事故のうち自転車に関係する事故が約46%の一万件強発生していて、昨年比でも同時期1700件余り増加しています。特に**信号無視、一時不停止、右側通行、歩道走行時徐行違反**の4項目を対象として取り締まりを強化し、刑事罰対象交通切符「赤切符」を交付し検挙をしています。

ご自身のけがの補償と賠償責任保険がセットの自転車総合保険「サイクル安心保険」を東京しごと財団 シルバー保険事業室

★お問い合わせ

TEL:03-5211-2319

【自転車に関する法令等時系列経緯】

- 平成27年6月 道路交通法改正 自転車による危険運転に対する罰則が強化
- 令和2年4月 東京都条例施行 自転車損害賠償保険等の加入義務化、事業者による自転車通勤者の保険加入無確認・情報提供努力義務
- 令和4年10月 警視庁 自転車悪質交通違反取り締まり強化 刑事罰対象交通切符「赤切符」交付検挙へ

このほか、事故多発項目も示されています。

一時不停止や信号無視などの交通ルール違反による事故が多発しています。



（東京都都民安全推進本部交通安全課 出典）

帽子型の **おしゃれ** **安全**



冬にピッタリな
温かい素材のタイプ

自転車用ヘルメット

季節に合わせて、その日の気分で、
帽子型のカバーを付け替えて、
ファッションのように
着せ替えをお楽しみください

自転車先進国ヨーロッパの厳しい
安全規格:CEマークに準拠した
安全性により、安心してお使い
いただけます

■お問合せ先

株式会社日本パレード フリーダイヤル **0120-71-8010**

<https://www.nippare.com/capor/>

カポル

公益財団法人東京しごと財団共同開発



サイズはS:52-55cm、M:56-59cm、L:59-62cm の3種類
(日本人の頭部形状に合わせた適正サイズ)



エイジレス80

シルバー人材センターのための
総合情報処理システム

NRIは、中央省庁、地方自治体および企業の皆さまのニーズに応じて、
公共政策、公共経営に関する調査コンサルティング活動を行っています。

近刊の「パブリックマネジメントレビュー」(月刊)レポートタイトル

- ・ 今こそ求められる組織文化のルネサンス
- ・ DX時代の市民参画のあり方
- ・ 高齢者の食料品アクセスへの課題と機会

「パブリックマネジメントレビュー」は、広く皆さまへ公開し、日頃の政策立案、事業展開にお役立ていただくためのニュースです。
レポートは、野村総合研究所(NRI)のホームページよりご覧いただけます。

(お問い合わせ先)

NRI社会情報システム株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25 タワーS棟
TEL 03-6660-9766 FAX 03-6660-9767

<http://www.nri-social.co.jp/>

「エイジレス80」は東京しごと財団と野村総合研究所の登録商標です

**シルバー
テキスト**



令和3年11月発行
B6判55ページ
定価228円(税込・送料別)

シルバー人材センター接遇マニュアル

あなたの笑顔はみんなの安心 ～温かい心を伝えるために～

しごとの場面では「サービス」と表現される「接遇」。
このテキストでは「接遇」の基本的事項の解説のほか、具体的な場面「こんなとき
どうする?」を、例題と回答例のQ&A方式でアドバイスしています。
シルバー人材センターのあらゆる就業で、しごとの技術とともに必要不可欠な
「接遇」の向上に、ぜひお役立てください。

**接遇DVDも
あります**

都内シルバー人材
センターでの実際の
事例を取り上げ、映像で「接遇」
をわかりやすく啓
発します。

平成27年3月作成
収録時間:15分
定価5,412円
(税込・送料別)



主な内容

I 全体編

- ・ シルバー人材センターでの接遇全般と個人情報の取扱いについて

II 基礎編(接遇における基本的な事項について)

- ・ 挨拶、身だしなみ、言葉遣い、電話応対

III 応用編

- ・ 個別の職種での接遇(公共施設、自転車駐輪場等)
- ・ お願いするときの手法
- ・ 断り上手になるためには
- ・ クレーム対応について
- ・ 注意するときの手法
- ・ クレーム対応の流れ 等

公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター
TEL 03-5211-2314

URL <https://www.tokyosilver.jp/>

シルバーとうきょうは、東京都シルバー人材センター連合のホームページからもご覧いただけます。

個人情報の取扱について

公益財団法人東京しごと財団では、「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)、「個人情報の保護に関する法律について
のガイドライン(通則編)」及び関係諸法令等の遵守徹底を図るとともに、個人情報を適切かつ安全に取り扱うため、個人情報保護基本
方針を制定しています。個人情報の取扱の詳細はホームページ(<https://www.shigotozaidan.or.jp/>)または、窓口でご確認ください。

R30

古紙/バブル配合率80%再生紙を使用